

大型現代アート作品の“見せる収蔵庫”

「MASK」(Mega Art Storage Kitakagaya) に新参画するアーティストが決定。 2021年の完成に向けたプレイベントを開催

一般財団法人おおさか創造千島財団(所在地:大阪市住之江区)は、広さ約1,000㎡・高さ9mの鋼材加工工場・倉庫跡地を、大型現代アート作品の収蔵庫として活用する「MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」(所在地:同北加賀屋5-4-48)の初の公募企画にてアーティストが決定。その作品制作過程を公開する「Open Storage 2020-2021ー拡張する収蔵庫ー」を、2021年3月6日(土)から21日(日)まで実施いたします。

新収蔵作家は気鋭のアーティスト・持田敦子

MASKは6年目となる2020年度、初めての公募により、7人目の収蔵作家として、1989年生まれの持田敦子を新たに迎えました。持田は、民家の中央部分を直径5mの円形に切り取り、回転する構造にした作品『T家の転回』(2017年)が大きな話題を呼び、その後各地の展覧会、芸術祭でもダイナミックな作品を発表してきた、新進気鋭のアーティストです。

持田は今回、MASKの機能的・建築的構造と工業エリアという地域性に多面的に対峙し、北加賀屋を拠点とする建築家ユニット・ドットアーキテクツ等とも協力し、自身にとって初の、長期保存が可能な作品を滞在制作によって生み出します。今回は、2021年度の完成前の中間報告として、制作過程の一端を、展示と関連プログラムによって披露します。

オンラインでも来場でも楽しめる展示&トークを開催

「Open Storage 2020-2021ー拡張する収蔵庫ー」は、様々な方法で鑑賞・体験をすることができます。

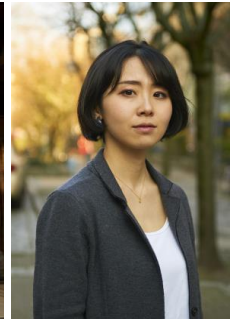
1. 来場して楽しむ

- I. 収蔵作品を現地で鑑賞する: 3月6、7、13、14、20、21日の6日間は会場をオープン。新収蔵作家・持田敦子のモックアップ(予定)や作品関連資料のほか、既存の収蔵作家(宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジ)の作品をご覧いただけます。
- II. ツアーに参加する: 持田敦子が制作中の作品について語りながら、新作の制作現場である会場を参加者とともに巡るツアーを行います。
- III. 対話型作品鑑賞プログラムに参加する(小学校低学年~大人向け): 初心者でも安心! 作品に対する素朴な疑問や発見など、参加者みなでおしゃべりしながら収蔵作品を楽しむツアーです。

2. オンラインで楽しむ

- I. 施設内を360度映像で鑑賞する: 360度カメラで撮影したリアルな映像で、お手持ちのスマホやPCから、MASKに収蔵された大型アート作品を隅々までご覧いただけます。
- II. トークイベントを視聴する: 持田のこれまでとこれからがわかる2種類のトークー(1)持田を新収蔵作家に選出した「Open Call 2019-2020」の選考委員と、持田作品と今回選出プランの魅力を読み解くトーク/ (2) MASKの新規収蔵を機に協働を行うドットアーキテクツとの「どうやって作るのか?」公開ミーティングーをMASKから生配信します。 ※配信のみ

新しい試みが盛りだくさんのMASKを、ぜひお好みの方法でお楽しみください。



上: 《Mientras mas lejos aumenta la probabilidad de la caída, aprender de ello también es probable (The further you go, you may fall or you may learn)》2018, ハバナ(キューバ), Photo: Maité Fernández Barrso / 下左: 《浮く家》2019, 網地島(宮城県), Photo: 樋口勇輝 / 下右: 持田敦子, Photo: Pezhman Zahed

「Open Storage 2020-2021 -拡張する収蔵庫-」 開催概要

<p>会場の公開</p>	<p>【現地開場日】2021年3月6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土)、21日(日) 計6日間 12:00～18:00 【オンライン公開期間】2021年3月6日(土)～21日(日) 計16日間 【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48 【オンライン:公開URL】 http://www.chishimatochi.info/found/mask/ 【入場・視聴】無料</p>																																				
<p>関連プログラム</p>	<p>【1】オンライントーク 【日時・出演者】 ① 3月10日(水) 19:00～20:30 持田敦子×飯田志保子(キュレーター)×木村絵理子(横浜美術館 主任学芸員) ② 3月12日(金) 19:00～20:30 持田敦子×家成俊勝・土井亘 (ドットアーキテクト) 【モデレーター】木ノ下智恵子(MASK キュレーター) 【視聴】無料、申込不要 ※現地での聴講はできません 【視聴方法】当日、MASK ウェブサイトから視聴いただけます</p> <p>【2】アーティストによる制作現場ツアー 【日時】3月13日(土) 11:30～12:00/13:00～13:30 全2回 【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48 【参加】無料、定員各回10名(先着順)、要申込 【申込方法】MASK ウェブサイトからお申込みください</p> <p>【3】対話型作品鑑賞プログラム アートのヒミツ基地! みんなで探検ツアー 【日時】3月20日(土)、21日(日) 全6回・各回約45分・定員あり 【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48 【対象】①12:00 小学校低学年 / ②14:00 小学生高学年 / ③16:00 中学生～大人 【参加】無料、要申込 【申込方法】MASK ウェブサイトからお申込みください 【監修】京都芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター</p> <table border="1" data-bbox="352 1211 1520 1447"> <thead> <tr> <th></th> <th>6(土)</th> <th>7(日)</th> <th>10(水)</th> <th>12(金)</th> <th>13(土)</th> <th>14(日)</th> <th>20(土)</th> <th>21(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地の公開</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>オンライン公開</td> <td colspan="8">○ 3/6(土) - 21(日) の期間中 24h公開</td> </tr> <tr> <td>関連プログラム</td> <td></td> <td></td> <td>○ トーク①</td> <td>○ トーク②</td> <td>● 制作現場ツアー</td> <td></td> <td>● 対話型鑑賞プログラム</td> <td>● 対話型鑑賞プログラム</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">●...現地開催/○...オンライン開催</p>		6(土)	7(日)	10(水)	12(金)	13(土)	14(日)	20(土)	21(日)	現地の公開	●	●			●	●	●	●	オンライン公開	○ 3/6(土) - 21(日) の期間中 24h公開								関連プログラム			○ トーク①	○ トーク②	● 制作現場ツアー		● 対話型鑑賞プログラム	● 対話型鑑賞プログラム
	6(土)	7(日)	10(水)	12(金)	13(土)	14(日)	20(土)	21(日)																													
現地の公開	●	●			●	●	●	●																													
オンライン公開	○ 3/6(土) - 21(日) の期間中 24h公開																																				
関連プログラム			○ トーク①	○ トーク②	● 制作現場ツアー		● 対話型鑑賞プログラム	● 対話型鑑賞プログラム																													
<p>メインアーティスト</p>	<p>持田敦子</p>																																				
<p>参加作家 (50音順)</p>	<p>宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジ</p>																																				
<p>主催</p>	<p>一般財団法人 おおさか創造千島財団</p>																																				
<p>企画協力・キュレーター</p>	<p>木ノ下智恵子(大阪大学共創機構 准教授)</p>																																				
<p>広報協力</p>	<p>京都芸術大学 ULTRA FACTORY、MIWA YANAGI OFFICE、SANDWICH、ANOMALY 他</p>																																				
<p>会場へのアクセス</p>	<p>MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48 Osaka Metro 四ツ橋線 「北加賀屋」駅 4 番出口より徒歩 10 分 ※JR新大阪方面からは、OsakaMetro 御堂筋線「大国町」駅で四ツ橋線に乗換 ※阪神高速堺線「玉出」出口より約 5 分 ※会場に駐車場はありません/近隣に有料駐車場有</p>																																				
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</p>	<p>37.5 度以上の発熱がある又は体調のすぐれない方、過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方はご来場をご遠慮ください/会場入口での検温、消毒にご協力ください/マスクを着用されていない方のご入場はお断りいたします ※状況により、プログラム内容が変更または中止とする場合があります。最新情報は WEB サイトをご確認ください</p>																																				

Press Release

■メインアーティスト プロフィール



Photo: Pezhman Zahed

持田敦子 Atsuko Mochida

<http://atsukomochida.jp/>

2018年、東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。同年、バウハウス大学ワイマール大学院 Public Art and New Artistic Strategies 修了。2018年から2019年にかけて、平成30年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてドイツ、シンガポールにて研修。

プライベートとパブリックの境界にゆらぎを与えるように、既存の空間や建物に、壁面や階段などの仮設性と異物感の強い要素を挿入し空間の意味や質を変容させることを得意とする。

■関連プログラム トーク出演者 プロフィール



飯田志保子 Shihoko Iida

キュレーター

1998年から2009年まで東京オペラシティアートギャラリー勤務。豪クイーンズランド州立美術館／現代美術館内研究機関の客員キュレーター、韓国国立現代美術館 2011年度インターナショナル・フェローシップ・リサーチャーを経て、第15回アジア・アート・ビエンナーレ・バンダラデシュ 2012、あいちトリエンナーレ 2013、札幌国際芸術祭 2014 のキュレーター、あいちトリエンナーレ 2019 チーフ・キュレーターを務める。主にアジアと豪州各地域で共同企画展を実践。2014年10月から2018年3月まで東京藝術大学准教授。



©427FOTO

木村絵理子 Eriko Kimura

横浜美術館・主任学芸員、ヨコハマトリエンナーレ 2020 企画統括

近年の主な展覧会企画に、「HANRAN: 20th-Century Japanese Photography」(National Gallery of Canada, 2019年)、「昭和の肖像: 写真でたどる『昭和』の人と歴史」(横浜美術館、2017年／アーツ前橋、2018年)、「BODY/PLAY/POLITICS」(横浜美術館、2016年)、「奈良美智」展(横浜美術館、青森県立美術館、熊本市現代美術、2012年)、「高嶺格」展(横浜美術館、広島市現代美術館、IKON Gallery・バーミンガム、鹿児島県霧島アートの森、2011年)、「東芋」展(横浜美術館、国立国際美術館、2009-2010年)ほか。



ドットアーキテクト dot architects

家成俊勝、赤代武志により設立された建築家ユニット。

大阪・北加賀屋にて、「もうひとつの社会を実践するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらず様々な人との協働を実践している。設計だけに留まらず、現場施工、リサーチプロジェクト、アートプロジェクトなど様々な企画にもかかわる。現在のメンバーは家成俊勝、赤代武志、土井亘、寺田英史、宮地敬子、池田藍、石田知弘の7名。 ※トークイベントには家成氏、土井氏が出演します

■MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 概要



撮影: 守屋友樹

MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

<http://www.chishimatochi.info/found/mask/>



鋼材加工工場・倉庫として使われていた建物をそのまま活用。床面積約 1,030 m² (52.5×19.5m)、高さ 9.25m。

事務所跡を改装したホワイトキューブ(展示スペース)と簡易レジデンスを併設。各地の芸術祭などに出展された大型の現代美術作品は、保管場所の確保が難しく、会期終了後に解体や廃棄を余儀なくされるケースが多い。このような状況に一石を投じ、大阪の創造環境の向上に寄与したいとの思いから、おおさか創造千島財団は、大型作品を無償で保管・展示する「MASK」を2012年より運営している。

■Open Storage 2020-2021 参加作家(50音順)・収蔵展示作品一覧



撮影:仲川あい

宇治野宗輝

《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD, THE HOUSE》2015 家電機器、木、鉄、ミクストメディア 400×800×700cm(展開時)

※2015年10月、MASKにて滞在制作／建築設計:dot architects、片岡慎策



撮影:仲川あい

金氏徹平

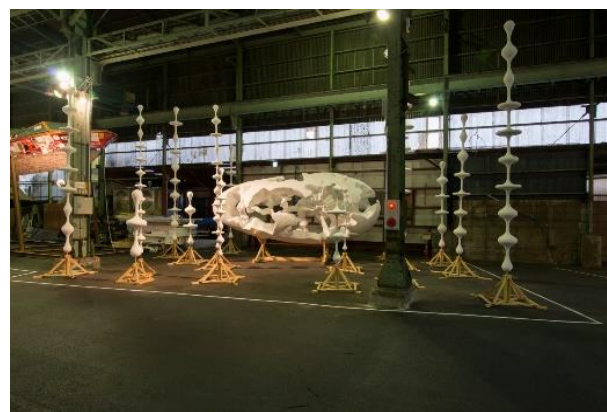
《White Discharge(公園)》2017 Mixed Media Dimensions Variable ※2017年1月、MASKにて滞在制作／《tower(THEATER)舞台セット》2017 Wood 600×300×300cm ほか



撮影:守屋友樹

久保田弘成

《大阪廻船》2013 プレジャーボート、鉄、エンジン、ステッカー 400×380×550cm



撮影:仲川あい

名和晃平

《N 響スペクタクル・コンサート「Tale of the Phoenix」舞台セット》2015 Mixed Media Dimensions Variable



撮影:仲川あい

やなぎみわ

《ステージトレーラー「花鳥虹」》2014 1,021×652×1,129cm(展開時)
※2016年、MASKにて野外劇『日輪の翼』の合宿稽古をおこない、名村造船所にて公演。



撮影:守屋友樹

ヤノベケンジ

《ジャイアント・トラヤン》2005 アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール 720×460×310cm／《ラッキードラゴン》2009 船、アルミニウム、FRP、他 1,000×450×1,530cm／《サン・チャイルド》2011 FRP、鉄、ネオン、他 620×444×263cm ほか